

総合特別区域の進捗に係る評価
[ライフ・イノベーション分野]

令和3年度

みえライフイノベーション総合特区

[指定：平成24年7月、認定：平成24年11月]

I 目標に向けた取組の進捗に関する評価

i) + ii) の平均値 (5+4.8)/2=4.9

4.9

i) 取組の進捗

目標値に対する実績に基づく進捗度(当年度実績)

番号	評価指標	進捗度	評点
1	統合型医療情報データベースの活用	125%	5
2	ヘルスケア分野の製品・サービスの増加	100%	5
3	ヘルスケア産業の振興	94%	5
4	ヘルスケア分野企業(第2創業含む)及び研究機関の立地件数(累計)	101%	5

評価指標毎の進捗の評価の平均値 (5×4+4×0+3×0+2×0+1×0) / 4 = 5

5.0

・1つの評価指標に複数の数値目標がある場合は、各数値目標の評価を寄与度に応じて加重平均する。
(例) 評価指標1について、a、b、cという3つの数値目標があり、各数値目標の評点・寄与度がa:5・20%、b:4・10%、c:3・70%の場合、 $5 \times 0.2 + 4 \times 0.1 + 3 \times 0.7 = 3.5$ で、四捨五入して評価指標1の評価は「4」となる。

■ 地方公共団体による特記事項

※外部要因による数値への大幅な影響等があれば記載

ii) 取組の方向性に対する評価

専門家による評価の平均値

4.8

II 支援措置の活用と地域独自の取組の状況に関する評価

i)、ii)、iii) の平均値 (3.5+4+4)/3=3.8

3.8

i) 規制の特例措置を活用した事業等の評価

専門家による評価の平均値

3.5

ii) 財政・税制・金融支援の活用実績の評価

専門家による評価の平均値

4.0

iii) 地域独自の取組の状況の評価

専門家による評価の平均値

4.0

Ⅲ 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決に関する評価

(専門家所見(主なもの))

4.4

- ・医療情報データベース活用とMieLIPを主体としたヘルスケア製品・サービスの創出が根付いている点が評価できる。
- ・データベースの着実な蓄積の結果とも見なすことが可能な共同研究締結件数の増加を評価したい。県行政における支援体制の強化についても進展が見られた点も今後の発展を期待させるものである。
- ・調整費を活用した財政支援がヘルスケア分野の製品・サービス開発につながっている点を高く評価したい。
- ・医療情報データベース活用とMieLIPの活動の相互作用があるかどうかについて、データベース活用している企業のうち県内企業の割合を報告してはどうか。
- ・MieLipの「製品・サービスの増加」「製品・サービスの創出に伴う新規雇用創出数」等については、具体例を挙げてもらえると数値目標の妥当性が確認できる。
- ・統合型医療情報データベースの取り組みについては、三重県だけのデータでは限界があると思われ、現状では世界のビックデータと競争するためにまだ課題があると思われる。今後の規模拡大の可能性および海外との競争力強化を視野に入れた戦略が展開されることを期待する。
- ・統合型医療情報データベースの活用として、医薬品や医療機器の研究開発に向けた活用にとどまらず、災害時における医療情報喪失防止のためのバックアップや医療機関の連携に向けた活用にも期待したい。

専門家による評価(専門家の総合的な所見)の平均値

4.4

総合評価

I、II及びⅢを1:1:2の比率で計算 $(4.9+3.8+4.4 \times 2) / 4 = 4.4$

4.4

(注)評価に係る評点及び表記の考え方については以下のとおり。

- ・評価は5～1(評点)で行う。
- ・進捗度は、100%以上を5、80%以上100%未満を4、60%以上80%未満を3、40%以上60%未満を2、40%未満を1とする。
- ・進捗度以外の評価項目における評点は、5:著しく優れている、4:十分に優れている、3:適当である、2:適当であると認めるには不十分である、1:適当であると認められないとする。